

昨今求められているオフィス環境の要件に対応したネットワークを使用していますか？

オフィスよりも自宅の方がネットワーク接続が優れていると述べているユーザーもいます。ネットワークをモダン化しましょう。新しいオフィス環境要件のために最適化する方も、ハイブリッド・ワークプレイスのために最適化する方も、以下のチェックリストを確認し、ユーザーの期待を上回る環境を構築することで、投資を将来に活かしましょう。

WI-FI に関するチェック項目

- Wi-Fi 6/Wi-Fi 6E:** 最新の規格に対応したソリューションを使用しましょう。Wi-Fi 6 は、より多くのクライアントと IoT デバイスのキャパシティを備え、優れた効率性とセキュリティを提供します。Wi-Fi 6E は、その機能を 6 GHz 帯域に拡張することにより、お使いのネットワークをさらに長く稼働させ続けることができます。
- Wi-Fi Alliance 認定:** この認定は、802.11ax 規格の主要要件に適合し、個別に検証されていることを示すものであり、以前の規格との相互運用性も保証します。
- RF 最適化:** クライアントは、最適な AP に動的に接続し、クライアントのスティッキー問題を解消し、パフォーマンスを最適化する必要があります。AP は、携帯電話の干渉を最小限に抑えるロジックを備える必要があります。
- アプリケーション QoS (Quality of Service):** 必要なアプリケーションの優先度と帯域幅を割り当てることにより、アプリケーション・サービス・レベルを確保します。
- 在宅勤務者のサポート:** IT 部門は、エッジのアプライアンスなしで、セキュアかつ高パフォーマンスの接続により、在宅勤務者を簡単にサポートできる必要があります。
- 屋内ロケーション対応:** オーバーレイ・ネットワークを導入するのではなく、AP が屋内ロケーション・サービスに対応できる必要があります。AP は自動的に自身の位置情報を検出し、セキュリティに妥協することなくユニバーサル参照フレームワークを使用して位置情報をクライアント・デバイスに提供できます。
- IoT サポートの拡大:** Bluetooth は不可欠ですが、AP を IoT プラットフォームとして稼働できるようにするためには、無線ネットワークは、802.14.5/Zigbee および USB ポートによる拡張にも対応する必要があります。また、Wi-Fi 6/6E AP に搭載された TWT(Target Wake Time) 機能により、IoT デバイスのバッテリーを長持ちさせることができます。
- 屋外でのカバレッジ:** ミーティングやイベントなどで屋外空間を活用できます。お使いの AP が屋外や危険場所に対応しており、ライフタイム保証によりサポートされていることを確認しましょう。

ネットワーク管理に関するチェック項目

- 簡単な管理:** 知識やスキルレベルに関係なく、初心者の管理者やエキスパート向けのオプションを提供する GUI インターフェイスが必要です。ネットワーク管理システムは、ゼロタッチ・プロビジョニングやオペレーションの合理化に対応し、ハイエンドユーザー向けの CLI アクセスを提供する必要があります。クラウド管理ソリューションにはライブチャット機能も備わっていることを確認してください。
- AI と自動化:** 効率を向上させるために、ネットワーク管理システムは、ネットワークやクライアントの問題について、対処可能な原因やトラブルシューティングのヒントを提供するだけでなく、問題を未然に防ぎ、ダウンタイムやヘルプデスクへの問い合わせを解消する、自動化されたベストプラクティスのパフォーマンスのインサイトを提供する必要があります。AI ベースのプロファイリングも搭載する必要があります。
- SASE/ゼロトラスト:** クライアント/IoT デバイスや在宅勤務者の増加により、セキュリティ侵害の件数も増えていきます。SASE とゼロトラストのフレームワークは、セキュリティ・ポスチャを強化し、リスクを最小限に抑えます。Zscaler などのクラウド・セキュリティベンダーによるオーケストレーションは、在宅勤務者をさらに保護します。
- 統合ポリシー適用:** スケーラビリティを強化し、ネットワーク・プロビジョニングのオーバーヘッドを軽減し、一貫したポリシーベースの制御をセキュアに提供する、すべてのユーザーおよびクライアント・デバイス向けのロールベースのアクセスが必要です。これは、手動の VLAN ベースのアプローチにおいて推奨されます。
- クラウドとオンプレミスの管理オプション:** ハードウェアは、入れ替え不要で、クラウド管理型ネットワークに自身のペースで移行できる、クラウドまたはオンプレミスの管理プラットフォームをサポートする必要があります。
- 拡張性:** 優れた拡張性により、再作業を減らし、ネットワーク・フットプリント全体を管理できます。オプションのエッジ・アプライアンスは、多数の AP やファイアウォールのセッションに加え、さまざまな VLAN のローミングなどをサポートします。(このオプションはゲートウェイとして知られています)
- 高可用性/ライブ・アップグレード:** 無線ネットワークはほとんどの企業にとって不可欠となっている現在、アップグレードのためにダウンタイムが必要となったり、クラウドの接続が失われた場合に稼働を停止したりするようではいけません。

